



SAKAI CITY INDUSTRIAL PROMOTION CENTER

堺IPC PRESS

堺でがんばる企業応援マガジン

特集「万博を超えて」

「世界への挑戦」は、終わらない
万博のレガシーを胸に、次なるイノベーションへ
走り続ける企業の今を追う。



この企業にこの人あり!

食の枠を超え、常識を覆すアイデアで
未来を創る仕掛け人。

SAKAIもの新発見

丁寧な手仕事が生む堺の伝統技術「和晒」が、
究極の肌触りを届ける。



万博を越えて—— 空を革新する「働くロボット」の本質と未来

閉幕後一年。世界へ発信した独自ドローンの現在。

ドローンは目的ではない。
現場の本質に寄り添う変革の翼

「万博ではヘルスケアパビリオン内で一週間、当社のドローンを展示させていただきましたが、とても楽しかった。」と菱田社長は当時を振り返ります。

さらに、同社が見据える万博の「先」は、単にドローンを飛ばすことではありません。「作業場や工場敷地内などリスクのある場所で働く、世の中になかったものを作る」という、本質的な部分で役に立つものづくりです。

現在はAIの活用や、成果を定量的に評価できる仕組みづくりを進めており、万博での反響をただのブームで終わらせず、更なる開発のために有効活用していることが同社の強みになります。

「万博出展」の誇りを胸に、実用性と本質を愚直に追求し続ける同社は、これからも現場に寄り添うイノベーションと技術力で、未来の産業を力強く支えていきます。



万博で世界に披露された、菱田技研工業の「壁面吸着親子ドローン」。吸着パッドを搭載し、垂直な壁面での安定した高所点検や穴あけなどの特殊作業を可能にする独自の先進技術です。



ザラつく壁面にもピタッと密着。凹凸のある壁でも安定した吸着を可能にする独自パッド。



反力キャンセルに使用するティルト機構の動作確認をする菱田社長。

経営のキモ

小学生の頃に開催されたEXPO'70を訪れた菱田社長は「各国のパビリオンで見た未来の技術は『技術が面白い』と思うようになった原体験の一つ」だと語ります。

この原点にある飽くなき好奇心と「技術へのワクワク感」を、時代が求めるニーズへ迅速に適応させる柔軟な姿勢は、次世代へも継承されています。伸鉄業からドローン開発へと変革を遂げた、既存の枠にとられない大胆な挑戦こそが、同社の成長を牽引する最大の原動力です。



今月号の特集

「万博を超えて」

万博の先へ。進化するモノづくりの世界に挑んだ2社が描く、閉幕から1年後の歩みと次なる未来。

大舞台を越え、次なる空の産業へ 菱田技研工業株式会社

代表取締役社長 菱田 聡さん

変革が生んだ、唯一無二のドローン

1920年に伸鉄業として創業以来、時代に合わせた変革を続け、現在はオリジナル産業用ドローン「ALBATROSS（アルバトロス）」のカスタマイズ開発を主軸とする菱田技研工業株式会社。既製品では対応できない現場に寄り添うオーダーメイド開発を得意とし、ドローンでの高所点検や壁面吸着などの高い技術力を誇っています。

ロボット事業へ、決意のシフト

「バブル崩壊の煽りを受けて鉄工業からの事業転換を余儀なくされましたが、2004年にロボット・システムの研究・開発と販売へ事業を転換しました。さらにロボット事業の延長としてドローン開発を始めて17年になります。」未知の分野でも恐

れずに飛び込む菱田社長の根底にあるのは、時代が求めるものづくりへ挑戦し続ける強い想いです。

産学連携で挑む、独自の技術力

同社は大学などと協力し、現場の課題を解決する機体を形にしてきました。徳島大学と共同開発した「散水ドローン」は、特許技術「反力キャンセルティルト機構」により、放水時の反動や風に負けない安定飛行を実現。このほかにも特許を取得した「壁面吸着親子ドローン」は、壁に機体を固定することで電動ドリルでの穴あけなど、従来のドローンでは困難だった反動の大きい高所作業を長時間可能にしました。

これらの技術は、大阪・関西万博で実機展示と作業の様子を収めた動画を通じて世界へ発信されました。



開発に励む後継者たち。万博出展の誇りを胸に、次なる挑戦へ。



機体の前方に搭載された高性能カメラ。安全な高所点検作業を可能にする。

菱田技研工業株式会社

堺市西区築港新町2-7-2

TEL.072-244-6905

設立/1920年創業 1950年設立
資本金/1,000万円 従業員数/6名
事業内容/産業用ドローンの研究開発、
製造販売、不動産賃貸



HP



さかしの掲載ページ

「万博を超えて」

万博の先へ。進化するモノづくりの世界に挑んだ2社が描く、閉幕から1年後の歩みと次なる未来。

削らないチタン加工の未来 ハイテン工業株式会社

代表取締役社長 佐伯 知哉さん



航空機も支える、研究開発型の技術力

創業約78年を誇り、自動車部品のホイールナットや電柱の足場、航空機用金型まで幅広く手掛けるハイテン工業株式会社。社名の由来であるハイテンション・ボルトをはじめ、超硬合金の特殊金型やステンレス加工など、超精密な金属プレス加工技術を強みとしています。

独自の高温鍛造で挑む環境配慮

同社がめざすのは、後述する独自のモノや技術で地球に優しく本質的に役立つものづくり。「従来は削り加工が常識だったチタンなどの硬い材料に対し、

約800〜900度の高温で鍛造する技術を開発しました。材料を無駄にしない『省材料・省工程』の切削レス製造を実現したことで、エコにも貢献できる製品です。」「自社を「研究開発型企業」と位置づける佐伯社長の熱い想いが、この挑戦の原動力となっています。

万博へ挑む、技術発信と社内改革

「万博への出展の主な目的は、新しい技術を世の中へアピールし『こんな技術ができた』と示すことでした。この挑戦が社員のモチベーション向上や企業ブランドデザインに寄与し、次世代を担う新たな技術者の採用活動にもつながると考えていました。」佐伯社長の挑戦は、単なる技術披露に留まらず、企業の未来を創る社内改革としての側面も大きく担っていたのです。



真剣な眼差しで金属加工に挑む技術者。緻密な手仕事が高い品質を支えます。



大阪・関西万博への出展を証明する出展証。輝かしい実績が額に飾られています。

ハイテン工業株式会社

堺市美原区平尾679番地
TEL.072-361-8110
設立/1950年創業 1961年設立
資本金/1,200万円 従業員数/46名
事業内容/金型および周辺工具、
機械工具の製造・販売



HP



さかしの掲載ページ

「ものづくりに限界はない」 大舞台を越えて加速する百年企業への道

万博出展の経験を糧に、共同開発や新規商談で世界へ挑む。

独自の高温鍛造技術。 省材料とエコへの志

「万博では金型を直接見せられずアピールに苦労した」と佐伯社長は語りますが、万博を機に「大阪産業技術研究所」との共同開発や出展企業間のネットワークという財産も誕生。

この財産を糧に、今後は学会発表等を通じて技術を広め、省材料・省工程のエコなものづくりを推進し、五年後の商品化と百年企業へ向けた新たな収入の柱を築く方針です。

また、堺市産業振興センターのサポートを受けながら、補助金申請も積極的に活用。

佐伯社長は「モノづくりにには限界もゴールもない。だからこそ、自ら壁を作ることなく、自分のやり方で知識や工夫を重ねて変えていくことが大切」と力を込めます。「堺から世界へ」をフレーズに、ハイテン工業は独自の超精密技術を武器に次なる挑戦への歩みを力強く加速させています。



万博でも披露されたsakai kitchen(堺キッチン)認定のお香立て「KON-KOU」。独自の精密金型技術で美しいデザインへと落とし込み、洗練された造形美を放ちます。



ずらりと並ぶ精密な超硬金型の数々。他社の追随を許さない超精密技術が宿っています。



最新鋭の工作機械を使いこなす若手女性社員。細やかな手仕事と技術への情熱が未来を担います。

経営のキモ

堺市への移転や補助金活用、万博出展を機に、苦労して掴んだ特許技術を武器に難加工へ挑み続ける研究開発型企業のハイテン工業。万博での課題を糧に、受注が急拡大する航空機産業など時流の成長分野へ独自の超精密金型技術を迅速に適応させる高い先見性を持っています。

固定観念に捉われず、堺市産業振興センターなど外部の支援を力に変えながら新しい収入の柱を築く「壁を作らない向上心」こそが、百年企業へ導く最大の原動力です。



まずは共同出展から！
将来の自力出展につながる第一歩！

第12回 ものづくりワールド名古屋 機械要素技術展 共同出展企業を募集します！！

公益財団法人 堺市産業振興センター
大規模展示会出展支援事業



本事業は、当センターが展示スペースを借り上げ、市内企業に共同出展の機会を提供することで、展示会出展の効果を実感し将来の自力出展につなげていただくことを目的としています。また、堺市のものづくり企業が持つ優れた技術力・製品力を全国へ発信し、「堺のものづくり」の総合力をPRする機会として実施します。

会期

2027年4月7日(水)～
9日(金)

会場

ポートメッセなごや

募集枠

4社程度
(審査により選定)

共同出展負担金

150,000円/社

募集期間

2026年9月1日(火)～
11月30日(月)17時

応募方法

詳しくはHPを
ご覧ください。



この事業でできること

低コストで展示会に出展できます！

将来の自力出展をめざして、まずは通常よりも低コストで出展を体験してみましょう

全国のお客様に製品や技術をPRできます！

来場者約3万人。設計・製造の技術者や購買担当に自社技術を直接PRしましょう

展示会を有効活用するノウハウを学べます！

事前の勉強会で、展示会を有効活用する方法を学んで展示会に臨みましょう

主な応募条件

- ・ 中小企業（みなし大企業を除く）であること
- ・ 堺市内に本社または主たる製造拠点を有する製造業で、市民税の滞納がないこと
- ・ 堺市内で開発・製造した自社製品（完成品・部品）または開発した技術であること
- ・ 主要出展製品・技術について主催者が定める対象のものであること
- ・ 期間中、自社ブースに十分なアattend人員を確保し、会期前日の準備に要員を派遣できること

お問合せ：堺市産業振興センター 経営支援課 受付 9:00～17:30（土日祝を除く）
TEL 072-255-6700 FAX 072-255-1185 E-mail keiei_shien@sakai-ipc.jp

INFORMATION

堺市産業振興センターからのお知らせ

時代と共に変化する企業の経営課題に挑む堺市内の中小企業の皆さまを
応援・サポートする当センターの各種支援事業やビジネス情報をご紹介します。

LINE公式アカウント

LINE

友だち募集中



セミナーや補助金等の
中小企業の経営に役立つ情報を
LINEでキャッチ!!

スマホで、かんたん登録♪



公益財団法人 堺市産業振興センター 経営支援課

☎ 072-255-6700 ✉ keiei_shien@sakai-ipc.jp

堺市ミドル・シニアしごと応援プログラム

堺市では、多様な人材の活躍と市内企業の人材不足解消のため、おおむね50歳以上のミドル・シニア世代の就職活動や企業の人材確保・職場環境整備を支援しています。

求職者への業種・業界を知る講座、企業へのミドル・シニア人材雇用支援セミナー、また、両者をつなぐ合同企業説明会を開催することで、座学や体験を通じた学びに加え、企業と求職者が直接交流できる機会を提供し、求職者への就職支援・市内企業の人材確保支援を実施しています。

○合同企業説明会の開催【企業・求職者対象】

堺市内事業者とミドル・シニア求職者の出会いの場として、合同企業説明会を開催します。

開催に当たっては、9月に実施した企業向けのミドル・シニア人材雇用支援セミナーや、別途開催予定の求職者向けのセミナー（以下記載）を踏まえて、求職者においては応募意欲の向上、企業においてはミドル・シニア人材の経験や強みを活かした採用に結び付くよう実施します。

〈開催時期〉第1回：2026年11月17日（火） 第2回：2027年2月（予定）

○ミドル・シニア求職者向けセミナーの開催【求職者対象】

ミドル・シニア世代が活躍しやすい様々な業種・業界や職種について、業務内容や勤務体系、賃金相場、働く上での留意点などを学ぶことができる講座を開催します。

座学だけでなく、仕事体験等も交えた講座を実施し、仕事の理解を深め、就業後のミスマッチ防止を支援します。

〈開催日時〉第1回：2026年10月9日（金） 第2回：11月13日（金）

※合同企業説明会・求職者向けセミナー参加方法等の詳細については
市ホームページ（右記の二次元コードを参照）をご参照ください。



堺市ホームページ
「ミドル・シニアしごと
応援プログラム」

【お問合せ先】堺市雇用推進課 TEL.072-228-7404/FAX.072-228-8816
✉koyo@city.sakai.lg.jp

FactorISM2026 ～アトツギたちの文化祭～ テーマ「響く」 ～「体験」から「共感」へ、そして「波及」へ。～

FactorISM ～アトツギたちの文化祭～ は、「こうばはまちのエンターテインメント」を合言葉に、ものづくりの現場を一般公開し、世界に誇る日本のものづくりを五感で体験、体感してもらう文化祭のようなイベントです。

7年目となる2026年のテーマは「響く -Resonance-」。

総勢107社のまちこうばが集結し、これまで積み重ねてきた五感のすべてを解放します。職人の巧みな手さばき、鳴り響く機械の音、素材の香りと手触り。五感で受け取った生のエネルギーは、見るだけの「体験」を超えて、あなたの心に深く「共感」として響き渡ります。つくり手の技術と熱い想いに触れ、感動が人から人へ、まちからまちへと広がっていく。街全体を巻き込む大きな波紋の始まりを、あなたも現場で体感してみませんか。

開催日 2026年10月22日（木）～10月25日（日）

開催場所 各まちこうば 他

開催時間 各まちこうば による

開催エリア 堺市・八尾市・門真市・大東市・四條畷市・摂津市・高槻市・高石市
松原市・和泉市・柏原市・河南町
大阪市 住之江区／都島区／生野区／平野区・三重県名張市／伊賀市
石川県小松市・愛知県豊川市・東京都中央区
※最新の情報はFactorISMのHPをご確認ください



主催：まちのこうほうぶ（FactorISM 実行委員会）【お問合せ先】HPからお問合せ下さい▶



月額700円で実現！ 充実の福利厚生サービス 福利厚生で選ばれる会社へ。



こんなお悩みありませんか？

- ✓ 福利厚生を充実させたい
- ✓ 人材採用を強化したい
- ✓ 従業員の定着率を上げたい
- ✓ コストを抑えたい

採用力向上・人材定着・
従業員満足度アップをサポート！

SCKサービスセンターの多彩な福利厚生サービス



慶弔給付

各種祝金・見舞金・弔慰金・在会慰労金などを給付



健康管理

健康診断・人間ドック・インフルエンザ予防接種への補助で従業員の健康をサポート



宿泊補助

全国の提携ホテル・旅館、契約旅行社の利用に
1泊2,000円補助
年間10泊まで利用可能



ゴルフ場利用補助

契約ゴルフ場の利用に
1回2,000円補助
年間3回まで利用可能



チケット割引

スポーツ観戦・コンサート・演劇・各種レジャー・グルメなどのチケットを会員料金で提供



ベネフィットステーション

レジャー・エンタメ・スポーツ・育児・介護・ショッピング・スキルアップ・温浴施設などが会員料金で利用可能

入会キャンペーン実施中！

期間 ～2026年12月10日（木）

特典1 通常500円の入会金が
全員分無料！

特典2 入会人数×500円分の
セブン&アイ共通商品券進呈

特典3 キャンペーン期間中の
入会合計人数により商品券進呈



事業主のメリット

- ✓ 月額700円で、充実の福利厚生制度を導入！
- ✓ 会費は経費計上可能。節税メリットも。
- ✓ 運用の手間は最小限。担当者の負担を大幅軽減！



ご利用料金

入会金 500円 → キャンペーン期間中 無料
月会費 700円

加入対象

堺市内に事業所・店舗・工場等がある
従業員300人以下 または 資本金3億円以下の事業所に働く勤労者（パート・アルバイト含む）と事業主

お問合せ先
SCK 公益財団法人 堺市産業振興センター
勤労者福祉サービス課



072-255-1515

✉ kousei@sakai-ipc.jp

🌐 https://sakai-ipc.jp/sck/



お問合せフォーム



食べられる材料だけで作った「触れるシャボン玉」。食品開発の知見から生まれた、ユニークで安全な新製品です。



テストキッチンで試作に励む社員たち。繊細な手仕事から世界を驚かせる新製品が生まれます。



最新技術から生まれた100%植物性の唐揚げ。本物と遜色のない抜群の食感と美味しさを誇ります。



食品のプロが挑む、安全で面白い製品

「大阪での万博開催が決まったと同時に、必ず参加しようと思いました。そこで思いついたのが、最先端技術を用いた『食べられるシャボン玉』だったんです」と前田社長。「食品のプロとして安全で面白いものを届けたい」。そんな純粋な想いと自社の独自技術が結び付き、このユニークな製品が誕生しました。

セルロースが拓く、壮大な世界の未来

前田社長は、「セルロース」と「米」から革新的な次世代植物由来肉を開発しています。

開発された「とんかつ」

は、ジューシーな肉質感だけでなく、肉自体に「出汁の旨味を閉じ込める」といった味の設計ができる点が特徴。さらに、電子レンジで温めても衣のサクサク感が失われない高い品質を誇っています。

この技術は宗教的な食品事情などの多様な食文化に対応できる100%植物由来の「唐揚げ」にも展開され、世界市場を見据えています。

また、政府の新規需要米政策とも連携し、国内農業の活性化や食料自給率向上への貢献も目指している同社。単なる肉の代用品ではなく、肉を超える新たな食カテゴリーの創造へ挑んでいます。

私のお気に入り

春になると30本ほどの桜に彩られる、出島漁港突堤の西端に静かに佇む「船待神社御旅所」。かつて菅原道真公が太宰府へ向かう際、潮待ちのために船を寄せたという歴史が息づく場所です。

前田社長はお弁当を片手に花見を楽しむだけでなく、普段も仕事の合間のリフレッシュに訪れ、新たなイノベーションを生む活力となっています。

船待神社御旅所
堺市堺区出島西町8(南海本線湊駅下車、徒歩約10分)



この企業に この人あり

堺のものづくりを支える「人」にスポットを当て、その情熱と挑戦のストーリーに迫ります。



株式会社デリコジャパン

代表取締役社長 前田 正雄 さん



株式会社デリコジャパン

堺市堺区出島浜通2-18
TEL.072-247-3740

【事業内容】
食料品の卸売、和菓子の製造
●設立/2012年設立
●資本金/900万円



HP



さかしる掲載ページ

常識を覆すアイデアで未来を創る 食の枠を超え、世界を驚かす仕掛け人

大手企業のコンサルティン
グに35年以上携わってきた前
田正雄社長が、「スイーツで
世界に挑みたい」との想いで
2012年に設立した株式会
社デリコジャパン。食品原料
から製品までを網羅するプロ
であり「ふくや」ブランドの

「渋皮栗の生どらぐランド」
などの菓子販売をはじめ、独
自開発した耐熱もちや冷凍耐
性を高める添加物の製造、大
手外食チェーンへのOEM提
供も行っています。深い知見

を応用し、既存の枠を超えた
新分野を開拓する企業です。

伝統の魂を根底に、世界を 驚かす製品を

「ビジネスの原点は、和菓子職人だった父の姿です。幼い頃から仕事への向き合い方や社会人としてのマナーなど、商人としての基本を父の姿を通して見てきました。この父譲りの職人魂が、今の私の根底にあります。」と前田社長は振り返ります。

伝統的な職人魂を受け継ぎながらも、長年のコンサルティング事業を通して、食物繊維の一種であるセルロースに着目。セルロースの熱ゲル化の特性を生かした延焼抑制剤を開発するなど、既存の枠にとられない柔軟な発想力で人々を驚かせる新発想の製品開発を次々と具現化しています。



角野晒染株式会社

堺市西区津久野町3-32-1

TEL: 072-262-0425

- 設立/1931年創業 1951年設立
- 資本金/1,000万円 ●従業員数/18名
- 事業内容/綿織物の精練漂白加工、捺染加工



HP



さかしの掲載ページ

角野晒染株式会社

職人技が紡ぐ究極の肌触り
堺の伝統技術「和晒」が届ける新価値

1931年の創業以来、堺の地で伝統的な「和晒（わざらし）」を守り続ける角野晒染株式会社。機械式（洋晒）とは異なり、専用釜に生地を重ねて約30時間かけてじっくりと不純物を取り除く和晒は生地に圧力をかけないため、木綿本来のやわらかな風合いと圧倒的な吸水性が特徴です。

以前はさらし布や寝巻といった商品が主力でしたが、ライフスタイルの変化に合わせて衣類やカラフルな手ぬぐいなど新商品の開発も行っています。手ぬぐいは使い方や包み方、畳み方も含めてブランド・コンセプトに。

同社では手ぬぐいの染め体験ができる体験工房も併設。「ハンカチ代わりや温泉に行く時に使うなど、まずは手ぬぐいに親しんでもらいたい。そして堺で作ったと言ってもらえると嬉しいですね。」と語る角野孝二社長。製品を売るだけでなく、魅力を感じてもらおうという新しい価値の届け方にも挑戦しています。